

学校運営計画(4月)		評価(3月)		
<p>学校運営方針</p> <p>校訓「自助・自敬・信愛」のもと、生徒個々の個性・能力を伸長し、豊かな感性と創造力を養うとともに、社会の一員として公共の精神に基づく強い自覚と実践力を身に付けた人間性豊かな生徒の育成を目指す。加えて、家庭及び地域社会との連携指導体制の構築を図り、生徒・保護者及び地域社会に信頼される学校づくりを推進する。</p>				
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>年度重点目標</p> <p>具体的目標</p>				
<p>単位制高校として施設・設備とともに機能や組織も完成期を迎え、単位制高校の特長を生かした多様な学習ニーズに対応した教育活動が、効果的に推進されるようになってきた。魅力ある授業づくりを推進し、わかる楽しさや学ぶ喜びを共有する学習活動や安全、安心とやすらぎのある学習環境の提供、キャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を目指した教育活動は、出席率・単位修得率の向上と中途退学者の減少として成果が見られてきた。本年度は、これまで取り組んできた学校運営計画を継続し、規範意識に満ちたやすらぎのある学習環境を提供する中で、生徒の学ぶ意欲に的確に応え、将来の自己実現を見据えた進路意識や社会性を育む教育活動の充実、深化に努める。また、本校の特色でもある国際交流事業やESD事業を通して国際理解教育と人権が尊重され、いじめや差別の学校づくりを目指した人権教育を推進する。更に、教育活動に対する説明責任を果たすとともに、公開講座や研修会等とおして一層の理解・啓発に努め、地域に開かれた学校を目指す。</p>		<p>生徒の学習意欲を高め、基礎学力を向上させるとともに学ぶ意欲の向上と基礎学力の充実を目指す。</p> <p>研究授業、授業評価による授業改善に努め、「分かる授業」の実施と魅力有る学校設定科目の導入により、生徒の学習意欲を高め、出席率、単位修得率の向上を図るとともに基礎学力の充実、中途退学者の減少に努める。</p> <p>生徒の規範意識の高揚、基本的な生活習慣の確立、更に、自主・自律の態度の育成を図るとともに、担任、修学課、スクールカウンセラー、訪問相談員等との連携を強化し、生徒の修学支援体制の充実に努め、問題行動や不登校及び中途退学の抑制・防止に努める。</p> <p>キャリア教育の推進と系統的・組織的指導体制の構築を図る。</p> <p>各年次で早期の進路目標決定を促し、適切な受講ガイダンス及び受講登録を実現する。</p> <p>特進クラスの特徴化と進路関係事業の充実を図り、生徒の希望進路実現を目指す。</p> <p>特別進学クラスの指導内容の改善や高大等連携事業、インターンシップ、進路ガイダンス等の指導内容を充実させ、生徒の希望進路実現に取り組む。</p> <p>学校情報の公開と家庭及び地域・社会との連携強化を図る。</p> <p>特色ある教育活動、学校行事等の学校情報を中学校及び地域・社会へ積極的に発信・公開することで、本校教育への理解と地域・社会及び関係機関との連携を密にした協力支援体制の構築を図る。</p> <p>国際交流事業やESD事業をおして国際理解教育を推進し、地球市民的意識の高揚を図る。</p> <p>海外研修や短期ホームステイ等の国際交流事業を実施し、異文化理解やコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>人権教育を推進し、人権が尊重され、いじめや差別のない学校づくりに取り組む。</p> <p>人権教育週間や人権講座をおして、生徒の人権感覚や自尊感情の向上を図り、人間尊重の精神が醸成される環境づくりを推進する。</p>		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	前期の成果と後期の目標
教務部	教務部	生徒に勉学の本質や目的を理解させ、「魅力ある授業」を実現することによって、学ぶ喜びやわかる楽しさを体験させ、出席率・単位修得率を向上させる。また、各課との業務提携を強化し、ともにガイダンス部、生徒指導部との連携を深め、学習の諸環境を整備することで、学力の向上、希望進路実現、豊かな人間性の涵養に努める。	新学習指導要領に対応した時間割マスタを作成し、学習指導研修会を年2回実施する。道徳心や学校への帰属意識を向上させることができるHRの活動内容を構築する。	
	教務部	教育指導計画に則った教育活動を実施し、学習指導力の向上、ホームルーム活動の充実を図る。	教科担任、学級担任との緊密な連携により、単位修得率(80%以上)の向上と不登校、中途退学の減少(前年度比10%減)を目指す。	
	入試広報課	学校案内や入試相談を充実させ、入試情報を広報し、生徒募集と入試事務の円滑な実施を図る。	体験入学(年2回)、中学校進路相談事業(4学区)を実施し、ホームページや学校案内ポスターを更新し、入試相談を充実させることで入学志願者の前年比10%増を目指す。	
	庶務課	学校行事や会議等の日程調整を図り、円滑な実施を実現し、さらに教育支援システムの保守管理とPTA活動の運営を実現する。	教育支援システムの保守管理と校務用パソコンの適正活用を促し、教育の情報化を推進し事務の効率化、迅速化を図る。教職員の情報機器活用能力を向上させるとともに個人情報流出・漏洩防止対策を徹底するための研修(2回)を実施する	
生徒指導部	生徒指導部	心豊かに逞しく生きる力を育て、自主性と自己責任力の伸長を図るとともに、生徒会活動の活性化と学校行事の充実を努め、魅力有る学校づくりを推進する。さらに、優しさを培う多様な奉仕・体験活動を奨励し、地域に根ざした学校づくりに取り組む。	体験入学会や中学校訪問を年2回ずつ実施し、学校要覧、学校案内等の内容の充実と早期作成により効果的広報活動を推進する。	
	生徒指導部	安全教育、非行防止教育を充実させ、基本的な生活習慣を確立し、自主的・自律的な生徒を育成する。	「マナーアップひびき」として全職員を割り当て、校内4回及び校外1回の巡回指導等により、規範意識の高揚と問題行動の抑制・防止(前年度比20%減)に努める。「いじめ」に関する職員研修(年2回実施)や「保護者用チェックシート」による調査(年2回実施)により、早期発見、早期対応に努め、「いじめ」の防止・撲滅に取り組む。	
	修学課	生徒情報の共有化と教育相談体制の充実を図り不登校、長期欠席、中途退学の減少を目指す。	修学課会議を週1回開催し、生徒状況を把握するとともに、全職員が情報を共有するための生徒情報交換会を月1回開催する。	
	保健課	保健衛生の保持と環境美化に務め、安全安心な学習環境作りを目指す。	担任、スクールカウンセラー、訪問相談員等との連携を強化し、生徒の修学支援体制の充実を図り、不登校や中途退学の抑制・防止(前年度比10%減)を目指す。生徒の健康管理のために、諸検診の円滑な運営を心がけ、受診率100%を目指す。義援金講座、スクールカウンセラー、学校健康区及び関係機関との連携により、健康教室(年3回)実施し、教育相談の充実を目指す。生徒の美化意識の高揚と校内美化の促進のために、毎月1回「アウトドアひびき」を実施する。	
ガイダンス部	ガイダンス部	キャリア教育を推進し、生徒の能力や適性を生かした進路希望の実現をサポートするとともに、各課の連携強化や生徒の進路情報を教職員間で共有し、進路決定率(前年度比10%増)の向上を目指す。	体験入学(年2回)、中学校進路相談事業(4学区)を実施し、ホームページや学校案内ポスターを更新し、入試相談を充実させることで入学志願者の前年比10%増を目指す。	
	ガイダンス部	学習ガイドブックの充実とガイダンス技術の向上を図り、生徒に応じた的確な受講ガイダンスの実現を図る。	教育支援システムの保守管理と校務用パソコンの適正活用を促し、教育の情報化を推進し事務の効率化、迅速化を図る。	
	進路指導課	進学情報の共有化、校内外模試や特別講座の参加を促し、個々の生徒の進路実現を図る。	教職員の情報機器活用能力を向上させるとともに個人情報流出・漏洩防止対策を徹底するための研修(2回)を実施する	
	進路渉外課	キャリア意識を高め、高大等連携事業・インターンシップ・資格取得指導を充実させ、進路実現を図る。	企業体験、インターンシップ、就職・公務員模試等への参加率・受験率の向上及び、面接指導等の就職指導を充実させ、内定率の向上を目指す。	
研修	研修	公開授業(研究授業年8回実施、授業相互参観年2回実施)	各分掌との緊密な連携により、職員研修(年12回)を実施し、指導力の向上を図る。	
	研修	校内研修の充実を図り、教師力を向上させ、教育活動の活性化を図る。	生活体験発表会、芸術鑑賞の実施内容の充実と効果的運営により、生徒の学校への帰属意識の高揚と学習活動への意欲向上を図る。	
新入生年次	新入生年次	基本的な生活習慣を確立させるとともに、規範意識を高揚させる。	研究授業(年8回実施)、授業相互参観(年2回実施)の内容・方法を検討し、教科指導力向上と授業の充実を図り、学習活動の活性化をはかる。	
	新入生年次	学ぶことの楽しさに気づかせ、自分に適した学習方法を身につけさせる。	図書館の円滑な運営と利用率向上を図るために、広報紙「ライブラリー」を定期的に(月1回)発行する。	
	新入生年次	将来の進路について考えさせ、希望の進路を実現するために、高等学校でやるべきことを認識させる。	あらゆる場面で生徒に声をかけ、礼儀正しい態度を育成するとともに、保護者面談や年次通信(年8回)を通じて家庭との連携を密にし、生徒の指導にあたる。	
	新入生年次	授業を大切にし、継続的に学習する態度を維持させる。	修学課、訪問相談員、スクールカウンセラー等と緊密な連携をとり、生徒の修学を促す。	
在校生年次I・II部	在校生年次I・II部	教員間・専門機関・保護者との連携をさらに強化する。	新しい時代に即した指導方法を取り入れ、常に授業の改善を図る。	
	在校生年次I・II部	生徒一人一人の興味・関心・能力・適性をよく把握し、進路目標をより明確にする。	定期調査や模擬試験などで生徒の学力を把握し、面談等を通して適切な助言をする。	
	在校生年次I・II部	職員間の連絡を密にし、協力体制を充実させ、生徒自らが考え、行動する態度を育成する。	進路適性検査、近未来ガイダンス、進路希望別進路研究等を通して、自己の興味関心、適性を認識させる。	
	在校生年次I・II部	家庭との連携をしながら、確実に単位を修得させる。	模擬試験や検定試験への積極的な参加を促す。	
卒業生年次	卒業生年次	生徒が将来の夢を描き、その実現に近づける努力ができる支援をする。	授業出席率の向上(80%)と単位取得率の向上(取得率75%)を目指し、欠席生徒へ早めの指導をする。	
	卒業生年次	職員間の連絡を密にし協力体制を充実させ、進路指導体制を向上させる。	長期休業中の特別講座受講を奨励し、継続的な学習態度の育成を図る。	
	卒業生年次	自己教育力の育成を目指す。	修学課、訪問相談員、S・C等との緊密な連携により、多くの職員による修学支援体制を強化し、不登校生徒への早めの対応を実施する。	
	卒業生年次	生徒の進路に応じたきめ細やかなサポートを徹底する。	年次通信を定期的(年6回)に発行し、家庭との連携強化を図る。	